

SCHEDULE 2024 - 2025

4月 / April
2023年度活動報告会 (4/20)
2024年度プロジェクト学内公募 (4/15~5/10)

5月 / May
2024年度プレゼンテーション・審査会 (5/25)
2024年度採択プロジェクト発表 (5/30)

6月 / June
プロジェクト活動開始 (6/1~)
活動説明会 (6/3)
湖風夏祭 (6/15)

「プロジェクトのInstagramをリポスト」随時

7月 / July
スキルアップ講座 (7/3)
滋賀県立大学オープンキャンパス (7/20,21)

9月 / September
スキルアップ講座

11月 / November
湖風祭 (11/3,4)
2024年度中間報告会

3月 / March
活動実績報告会

4月 / April
2024年度活動報告会

ウェブサイトの情報が充実!



各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがありさらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知ることができます。

近江楽座 Instagram 随時更新中



各プロジェクトがInstagramに投稿した記事を「近江楽座」のアカウントでリポスト(再投稿)しています。←こちらからご覧ください

近江楽座でスキルアップ!

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。



そろそろ会でチーム間の交流も!



楽座っ子同士の交流会「そろそろ会」の企画も行っているミィ!他のチームの学生と交流できるチャンス!みんな集まれー!!

「近江楽座」=学生の力を活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

主な流れ



プレゼンテーション



交流会



中間報告会



成果報告会

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで
学生もプロジェクトも次のステップへ。
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。

— VOICE / 先輩の声 —

荊井 円香さん (滋賀県 森林保全課)
かみおかへ古民家活用計画
-SLEEPING BEAUTY-(2015~2018)



あなたが
見つけて
みませんか
「眠れる里」を

私が活動していた「かみおかへ古民家活用計画 SB」は、空き家など地域にあるものと学生の強みを自由に活かして三方よしを目指しています。私は活動に打ち込む中で自分の中に潜んでいた「何か」が目を覚ますような経験をしました。夢中になれることを見つけることができ、それが現在の仕事に繋がっています。近江楽座での活動をする上で、過去を踏襲する必要はありません。課題を探し、皆さんにとって一番やりたいことをやってください。また座学での学びを含め、何でも取り入れる工夫を楽しんでください。近江楽座で頑張ったことは、すべてその後の人生に役立つことでしょう。

政所茶レン茶 ーで2017年度に代表を務め、現在はお茶屋で働いています。活動を通してお茶の栽培や販売を経験し、お茶についてもっと知りたいと思うようになりました。知り得たお茶の知識から活動をもっと面白くできないかと様々なチャレンジをしたことが現在の仕事に活かしています。「近江楽座」は社会の中で自らの“やってみたい”を実践できる減多にない機会を与えてくれます。地域の信頼を得て任せてもらえる活動だからこそできる貴重な経験を大いに楽しんでください。

大賀雄介さん (株式会社マルヨシ近江茶)
政所茶レン茶 ー (2015~2018)



今しか
できない
貴重な
経験を

「近江楽座 (おうみらくざ)」とは?

滋賀県立大学の「スチューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎-」は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。

2004年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択され、2006年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取組として、学内外で高く評価されました。そして、翌2007年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを生かし、更なる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

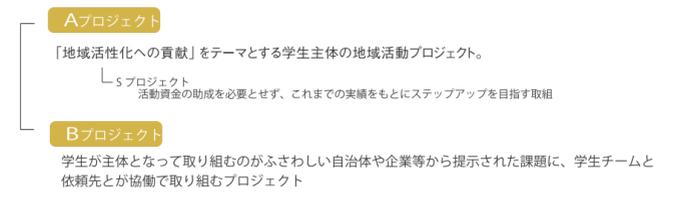
近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局(地域共生センター)の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

- **活動助成システム**
「近江楽座」として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。
- **コンサルティングシステム**
教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介、各種講習会の開催など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。
- **活動情報の発信・共有システム**
中間報告会や活動報告会で活動の成果を共有・発信するとともに、ホームページやSNS、パブリシティなどにより活動の情報発信をサポートします。

プロジェクトタイプ

これまでの20年間で延べ448のプロジェクトが活動を展開しています。

- **Aプロジェクト(学生主体型プロジェクト)**
SDGsの視点を踏まえ「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集し、プレゼンテーションと審査を行い、支援するプロジェクトを選定しています。また、これまでの近江楽座での実績をもとに更なるステップアップを目指し、活動資金の支援を必要としないプロジェクトを特別にSプロジェクトとして選定しています。
- **Bプロジェクト(地域協働型プロジェクト)**
自治体や企業、団体等から依頼のあった課題の中で、学生が中心になって取り込むのがふさわしいものについて、学生主体のグループを募集し、指導教員、地域共生センターおよび依頼先とが協働でプロジェクトに取り組みます。現在、「県営開出団地コミュニティ再生プロジェクト」(2016~)に取り組んでいます。



未来人材基金への寄付が
近江楽座の活動資金になります。



↑詳細はこちらまで



